

令和元年度 事務事業総点検シート(1)  
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			簡易点検
事務事業名	高齢者による起業等支援事業			シート番号	A 一般事務事業 11-090
担当部署名	健康福祉	局	長寿社会	部	地域包括ケア推進 課 評価責任者(課長名) 阿加井

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	2	地域全体で支える福祉の仕組みづくり	無
	2	事業開始年度	平成 29 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市高齢者起業等支援事業補助金			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	平成24年度の介護保険法改正により、全国一律の介護予防給付が市町村事業として再構築され、堺市では平成29年度から介護予防・日常生活支援総合事業を開始した。総合事業で介護サービスの新たな担い手の拡大が期待される中、地域の高齢者が参画する生活支援サービスなどを新たに立ち上げる事業者に対して事業立ち上げ等に要する経費を補助し、高齢者の社会参画を推進する。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )		
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか。)	非営利法人又は新たに非営利法人を立ち上げようとする地域組織やボランティアグループ等の任意団体		
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか。)	高齢者の参画による、地域福祉の増進や介護予防の推進に繋がる事業の起業を支援することにより、高齢者の生きがいがづくりや社会参加を促進するとともに、高齢者が、住み慣れた地域で暮らし続けることができる地域づくりに資することを目的とする。		
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	非営利法人又は新たに非営利法人を立ち上げようとする地域組織やボランティアグループ等の任意団体が、地域の高齢者の参画又は参加を得て、地域福祉の増進や介護予防の推進に繋がる事業を起業する際に、非営利法人の法人格取得に係る経費、法人の事務所又は活動場所の改修経費及び敷金並びに設備・備品の購入費に対し補助する(限度額1法人20万円)。		
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 特定非営利活動法人ASUの会			

Ⅲ. 投入量

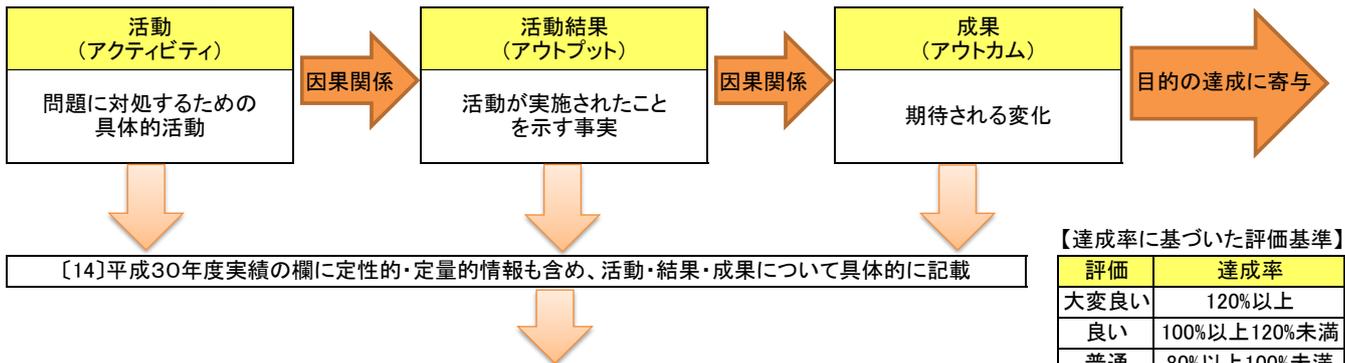
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
11 事業費 (a)	千円	0	835	240	440	
主な事業費内訳	補助金	千円		778	200	400
	審査会委員謝礼	千円		57	40	40
		千円				
		千円				
		千円				
財源内訳	国・府支出金	千円				
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
	市債	千円				
その他( )	千円					
一般財源	千円		835	240	440	
12 人件費 (b)	千円	0	820	820	810	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	0	1,655	1,060	1,250	

## 令和元年度 事務事業総点検シート(2)

<b>事務事業名</b>	高齢者による起業等支援事業	<b>シート番号</b>	11-090
--------------	---------------	--------------	--------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)》

#### ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

#### 事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	14	<p>平成30年度はホームページ及び広報さかいにより7月・12月と2度募集を行い、2法人の応募があり、1法人を選定した。本事業により、高齢者を従事者として雇用して、高齢者の買い物支援、ランチの提供、料理教室を実施する事業を新たに立ち上げることができ、買い物難民や高齢者の孤食、地域とのつながりの希薄化といった地域課題の解決が図られたとともに、高齢者の社会参加及び生きがいづくりにつながった。</p>						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		補助を行った法人数	法人	目標値		10	5	2
				実績値		4	1	
				達成率		40%	20%	
	評価			悪い	悪い			
	算出方法・設定根拠など		補助件数					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
				目標値				
				実績値				
達成率								
評価								
算出方法・設定根拠など								

#### 業績の分析

17	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
	<p>高齢化の進展に向け、高齢者の社会参加を促す本事業の有効性は高いと考えるが、実績が伸びなかった要因として、補助対象事業を、高齢者が参加する非営利法人が新たに実施する地域貢献事業に限定していたため、地域の任意団体にとっては起業へのハードルが高かったと考えている。</p>

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。